

植物エッセイ

大平 仁一*

カラハナ草は日影の草か花か

夏、地元の山へ入る杉の林の中へ。すると少しヤブになった所でホップに良く似たものに出会った。実というか花実というか、私には分からない。でも実はホップに似ていた。だけど匂いはしなかった。こんな所に・・・と思う。杉の木に絡まって伸びていた。8月の夏の日なのに、私は蔓ごと家に持って来て玄関のかざりにした。とてもきれいで家の玄関に置くにはもったいないと思った。来る人来る人がすてきと言うのでその気になった。妻も嬉しいらしい。

山ウドは妻に天ぷらにしてもらった。この葉はカリカリしておいしかった。ウドのクキは胡麻和えにしようと思いが良かった。

でもカラハナの花球は嬉しい玄関の花だった。この花を見ると人人はかわいいね、ホップだねと言っていた。

「エビネ蘭」のすばらしさ

山遊びをして早6年。そんな時、高社山の杉山へ遊びに行き、その林にエビネ蘭が咲いていた。美しい事に、しかも100以上もあり、目を楽しませた。その根に杉の枯れ葉が落ちていた。少し暗かった。でも花は、美しく明るかった。

この林は下の部落より近くの山の麓にあり、少し山の中に川も流れていて夏でも涼しかった。すぐ近くに「タラの木」があり、もう大きくなっていて「トゲ」が大きかったが、下の方の芽は小さくて食べられる。

でも、ほんとうに、こんな美しい蘭は初めてお目にかかり、すごく良かった。

一番目につく山ゴボウはいやな花

この花は里山に行くと咲いている。割と杉山にある。そんな花には興味が無いほど毒々しかった。どうして山ゴボウといい名前が付いているのだろう、と思う。変だなあ。その山ゴボウの実黒く垂れ下

がっている。

近くにヤマシャクヤクが生えていた。今は実になっていた。

私は今、白い杉ヒラタケを見つけて取っていたのだ。この杉林は少し坂であった。切り株があり、ヒラタケが案外多くあった。この山にはまだ熊が出ていない。少し安心し深い山へ入ってみた。

山の中で見るシャクヤクの花

この花ほど美しいものは無い。やさしい白に咲く花。それはいつも心温まる白でした。やはりこの白はなぜかすばらしい物があります。私はヤマシャクヤクの美しさにみとれた。

私のすぐ近くに桜の木がある。紫陽花も生えている。少し離れた所にヤマナシもあった。こんな所が私は好きだった。

中でもこのヤマシャクヤクほどの白さに私はおどろいた。好きだった。心は少し揺れ動いていた。白さに動いていた。なんとすばらしいのだろう この花の白さに私は動いた。心が？すぐ近くに大木の枯れ木が一本あった。すばらしい白然だ。こんな自然を私はうれしく思う。心の場所だった。

ジャコウ草は日影の花

山の川や里の川、日影に優しく咲くジャコウ草。その姿に私は日影の恋人と言う。そして水の清らしさと石ころの美しさに見とれていたのです。ジャコウ草の花は下向きに咲き、優しい美しさに私の心は奪われていた。ありがとうと私は心で言っていた。川の石を動かすと、赤い蟹が出てきて清流に流れていった。美しい姿だった。



写真1 ジャコウソウ

*大平 仁一 〒389-2322 長野県飯山市瑞穂1166-9

トンボの美しさ

鍋倉山の中に入ると至る所に小さな水溜りがあった。水たまりには、もう泳いでいるオタマジャクシもいた。それはモリアオガエルだった。すぐ近くの枝に泡の大きなかたまりがあり、モリアオガエルだとわかった。モリアオガエルは可愛いと思った。

この池の近くにユリワサビの小さい植物が生きていた。

その池の葉っぱにトンボがとまっていた。とてもきれいなトンボだった。私はすぐにシャッターをきったが、その時手が震えた。こんな美しい蜻蛉は見たことがなかった。美しいと思う。

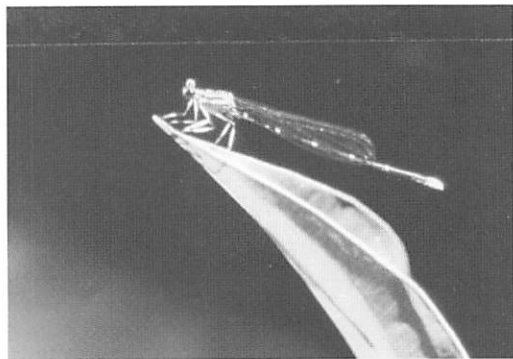


写真2 イトトンボ

蝶がくれたやさしい心

万仏山へ登ると杉林を通る。そこには、沢山の蝶に会う。私の知らない蝶が飛んでいた。いつも、オオムラサキがいるか？と見ているが、見当たらない。時には、白い蝶が飛んでいる。やはり蝶は、私達の心に温かいものを与えてくれた。

この頃の杉林の中には、クズの蔓が多かった。でも、その葉に蝶が止まっている姿に、私は感動して少し見入ってしまった。近くにキンバイ草やダイモンジ草が少しある。林の中には小さい藪があり、アブがいた。



写真3 チョウ

やはり、万仏山は楽しい。いつか、和田清先生と登った時の事を思い出していた。

木島平に「キバナノアマナ」を発見

里山のすそ野を歩くのが楽しい私は、木島平へ行き「キバナノアマナ」を発見し、うれしかった。小さくてかわいい姿に涙が出た。黄色で、小さくて土手に咲き、人々に楽しみを与えてくれた。近くにカタクリやアマナがあった。でも私は、キバナノアマナがかっこよかった。又、そこにはノビルの球の大きなものもあった。

そんな事があり、ある時自宅の上の方へ行くと柿の木の根元に「キバナノアマナ」の花が咲いていた。それにはすごく感動した。今私が感動や心を動かされているのは、自宅の近くにもキバナノアマナが咲き揃っている事である。



写真4 キバナノアマナ

オドリコ草は家族の楽しみ

少し離れた畔に咲くオドリコ草は私に笑顔を見せていた。この頃、保育園の子供さんが通り、この花を取りチューチューと吸いって「甘い、甘い。」と言い歩いていた。やはり子供は、純粋だ。

家の周りの草原に、多くのオドリコ草が咲いてい



写真5 オドリコ草

る。ただ一本一本見ているとそれは美しい。すぐ近くに小川があり、その近くにも咲いている。花を見ていると崖に咲く花の魅力を感じる。白い花は私も好きで、石の花はいいと思います。

その花に蛙がついている。蛙もこの花が好きなのか、私には分からない。その近くの畑にはクローバーの花が沢山咲いていた。そこの大きな木に赤い花が咲いていて、下の花を引き立てていた。時に木には、鳥の巣があり、私は見とれていました。その下には、ノビルが沢山あり、少し引き取り味噌をつけて食べた。

湖がくれた白い花

飯山の西山で沼と言うが、湖の近くで咲いているワタスゲの花は私にすばらしい癒しをくれた。この湖は、透きとおった水はきれいで、空の色がうつっていた。また、周りの影色も私の心を打っていた。

この湖のワタスゲはとても美しい白で、ここを通る人々の心を打ちます。この花の美しさを知り、植物の大切さをいま一度強く思ったのである。この池は、松の木ではない珍しい木もあった。湖の中には、水草が少しいていた。鴨が2羽なぜか飛んでいった。

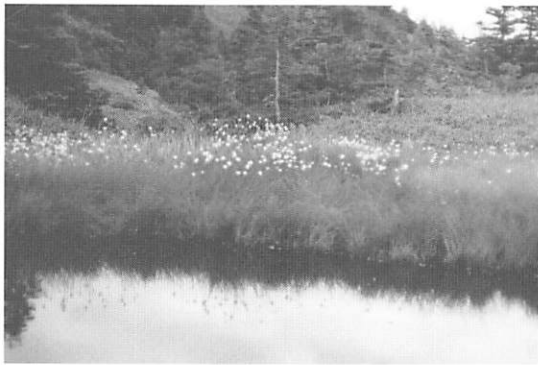


写真6 ワタスゲ

この池の蓮はみごと

この池の蓮の花は美しい。根はレンコンと言っておいしい。皆さん見に来ている。鴨が5～6羽飛び立っていた。蓮の花は白や赤もあり、私や妻を嬉しがらせた。この池には鯉もいて釣り人が多い。その自然が私にはすごく好きな池だった。

池の側のリンゴの実がおいしそうに実っていました。近くの林にはリョウブの花が白くついていた。でもやはりサルスベリみたいな木であった。



写真7 蓮

ギフチョウは美しい蝶

住職の知人と山へ入りカンアオイを見て走る。雑木の下に沢山あり、この葉のハート型に嬉しさを感じた。少し歩いていると、美しい蝶がヒラヒラと飛んでいた。蝶の美しさに魅了した私は心がどうかしそうでした。又この蝶はカンアオイを食料にしているのが不思議でした。ここは飯山市の山の中で2カ所にあり、いつまでも世に残したいと思うこの頃でした。

小さい鳥に教えられた心

暖かくなって来た春、家の軒下遠くから時々来る二羽の燕がかわいくて見とれていました。時に泥を落として知らぬふりで飛んでいく。時々、雀が来てじゃまをする姿が見える。見ていると燕がかわいくて家族に見える。いつも母ちゃんに気になる燕の事を聞くと、「父ちゃん、なんでそんなに聞くの、そんなに心配になるの、大丈夫だよ。昨日雛がかえったよ。今日殻一つ落としてあったよ。」と。

私はかわいくて、いつも見上げていた。そんなある日の7月見上げると軒下の燕を見ると巣に6羽の子供が大きな口を開けていた。いつも、飛び虫や鯖

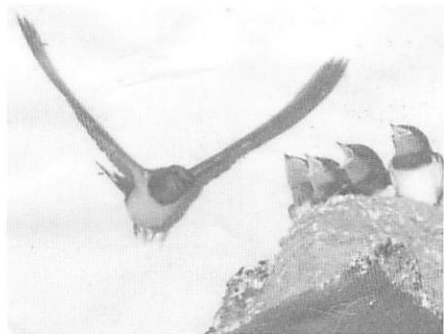


写真7 燕

蛤をくわえて来た。そんな時チーチーとなく子供達に私は愛着を感じた。いつもスィーと私の近くを通っていく姿にうれしさを感じた。

今日も前の畑でオドリコ草の白い花を孫が吸って遊んでいる。そんな姿がうれしいなあ。

私は春の貴婦人と言いたい

この花に出会ったのは妙高山へ登った時、雪のある所より 100m はなれた所にあった。サクラ草だった。この花のすばらしさに思いをはせ、心をうばわれた。私は間違いじゃないかと思い、ここで出会っ

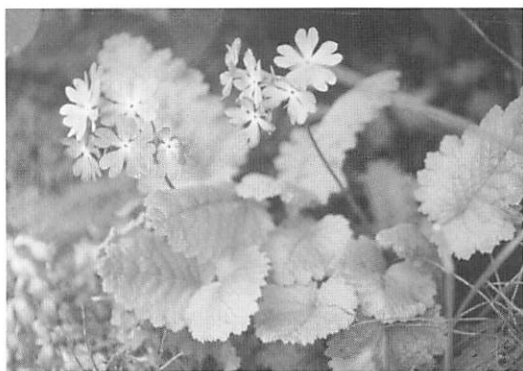


写真8 サクラ草

た事に私なりにおどろき、二度ふり返った。うれしかった。坂のカゲにそれはあったのだ。登る人は皆無関心だった。皆登るのが精一杯なのか。でもすばらしい花だった。

まだ少し雪の残雪がうれしかった。

ワレモコウ私はすてきよ

北志賀の竜王の山へ行くと、ゲレンデの夏はすばらしかった。そこには、ワレモコウがたくさん顔を出していた。ワレモコウはきれいだった。

夏に咲く山ユリもたくさん咲いている。草の丈は私の枯死ほどあり、そこここに顔を出している。すぐ近くにクサノオウの黄色い花が咲いていた。その草から黄色い汁が出ている。私が踏んでしまったのかな。でも、私にはそんなに好きになれない花だった。

その草原の中にはたくさんの草があった。その中にイワカガミがあり、よく見るとオオイワカガミと思われるほど葉が大きかった。

私は腰まである緑の草の中で、この草原のすばらしさに惚れ惚れして空をあおいでいた。100人乗りのゴンドラが私の頭を通っていった。